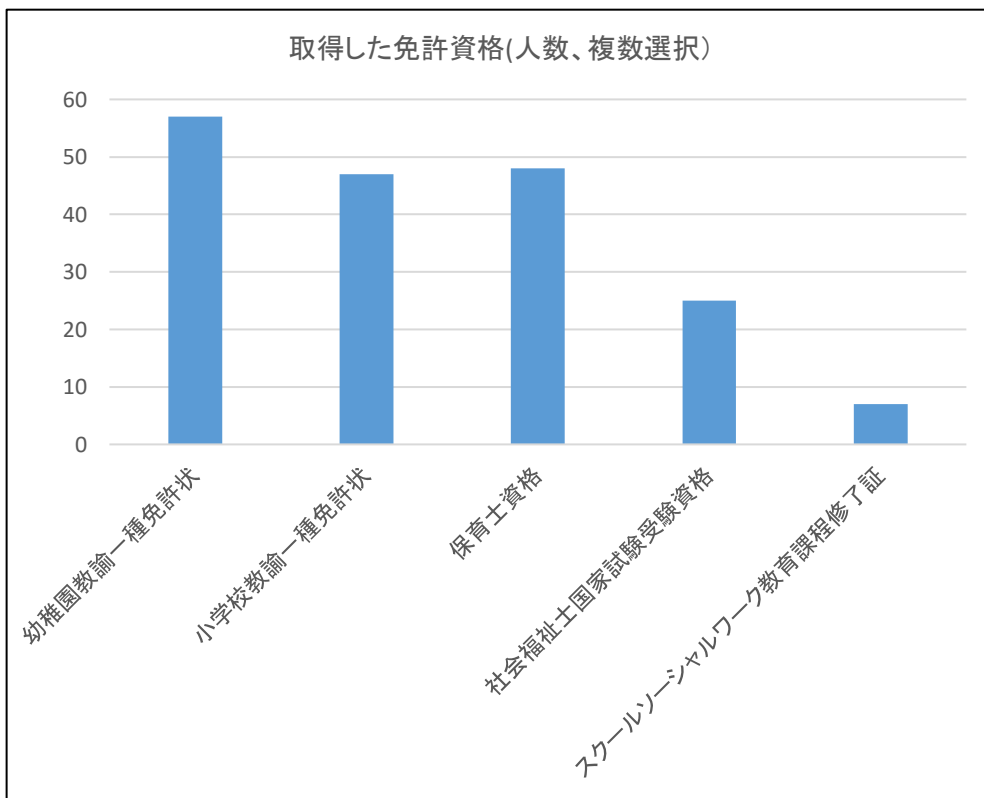
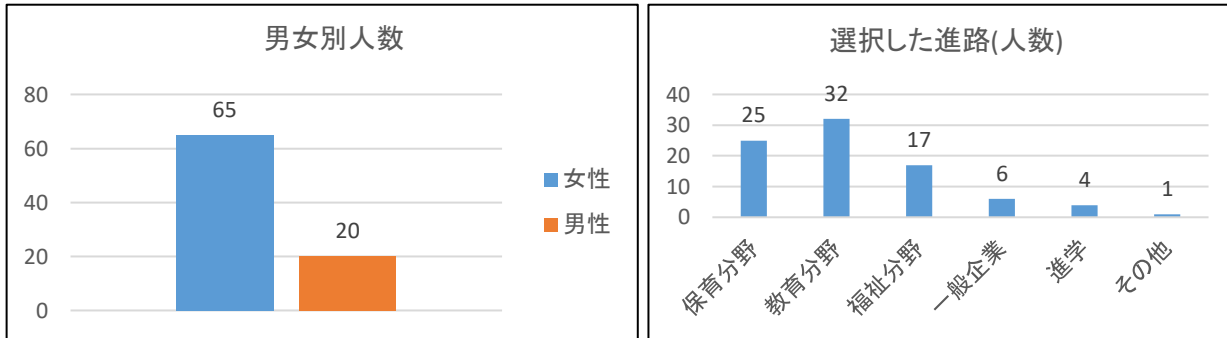


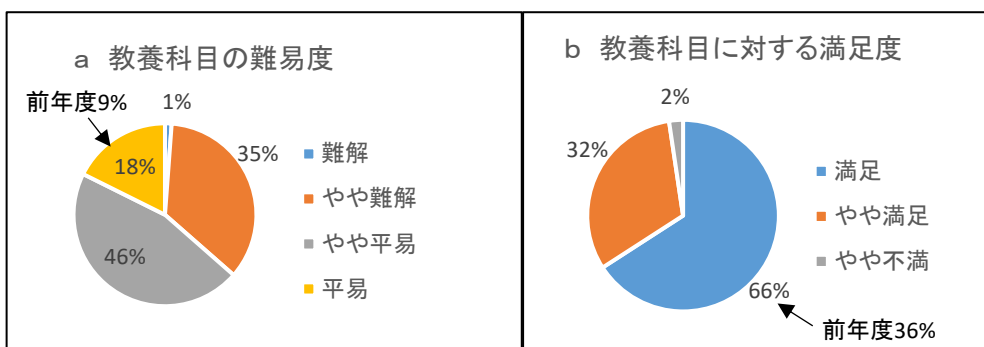
令和5年度 富山国際大学子ども育成学部 卒業時アンケート結果

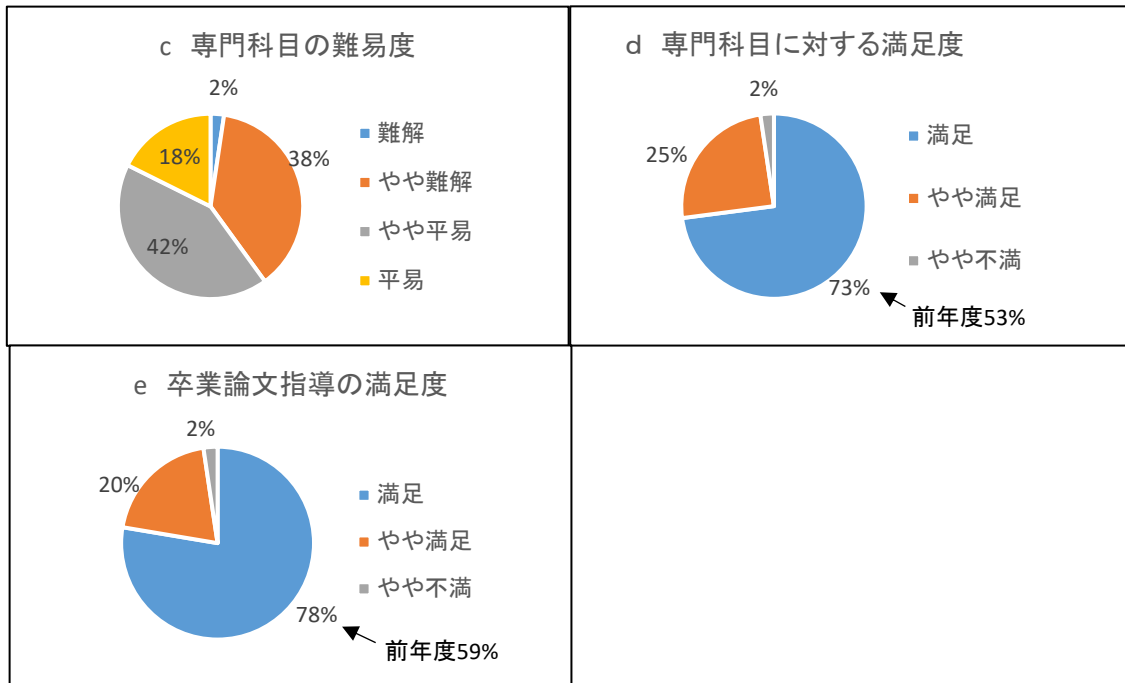
実施日時:3月8日(金)特別ガイダンス時

アンケート回答:4年生93名中85名(回答率91.3%)



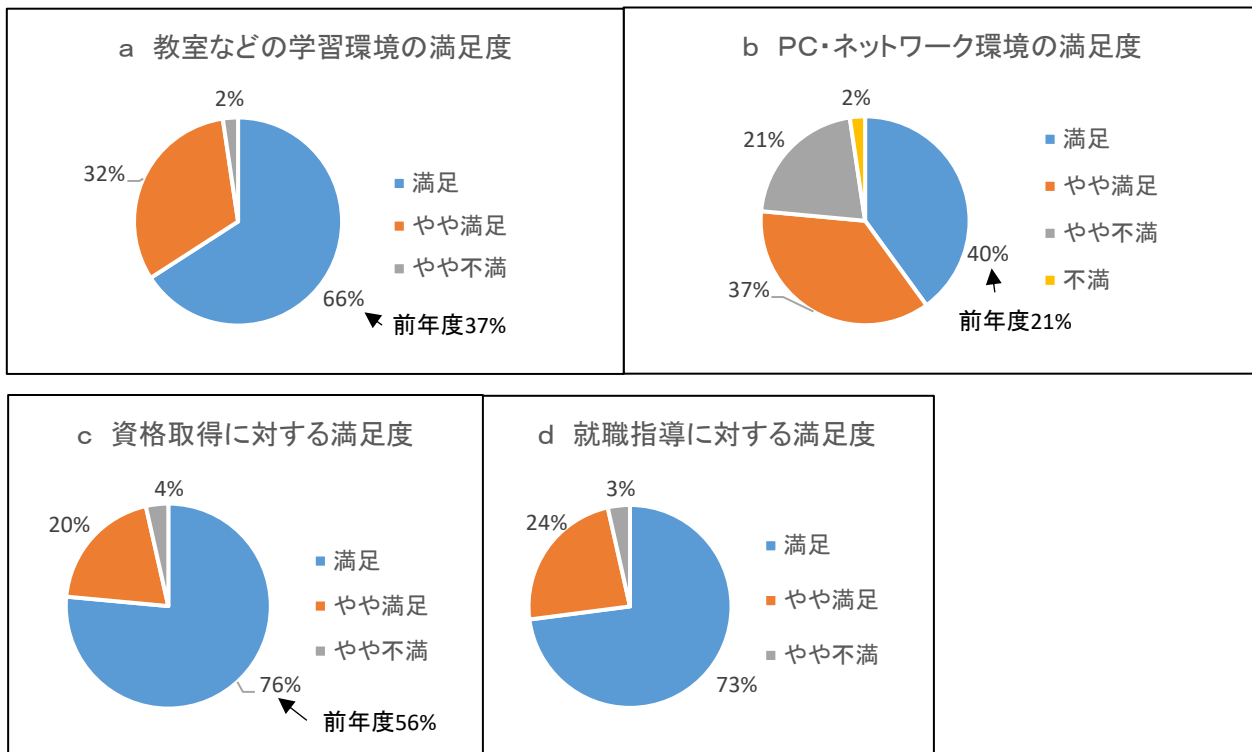
1. 授業科目全般に関する平均的評価





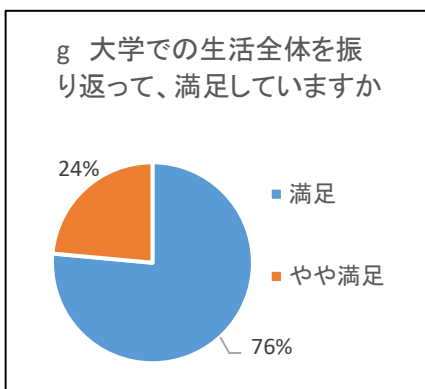
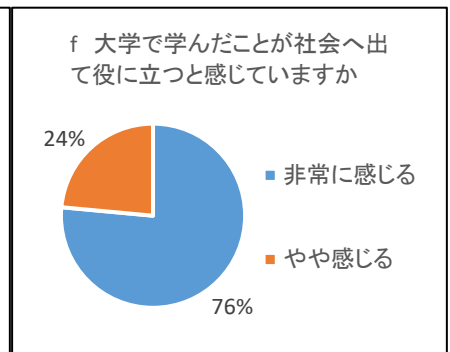
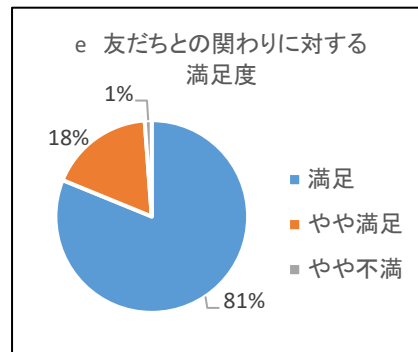
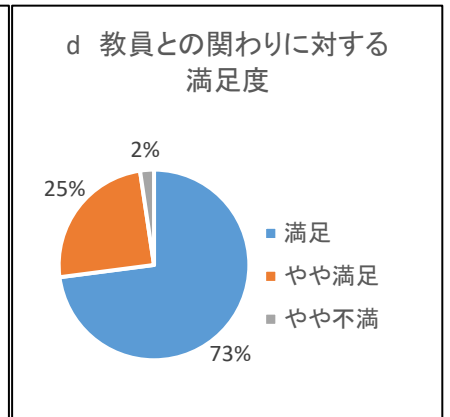
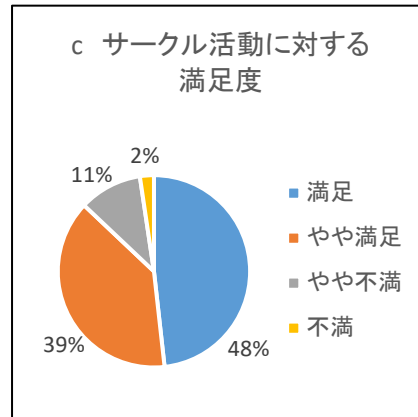
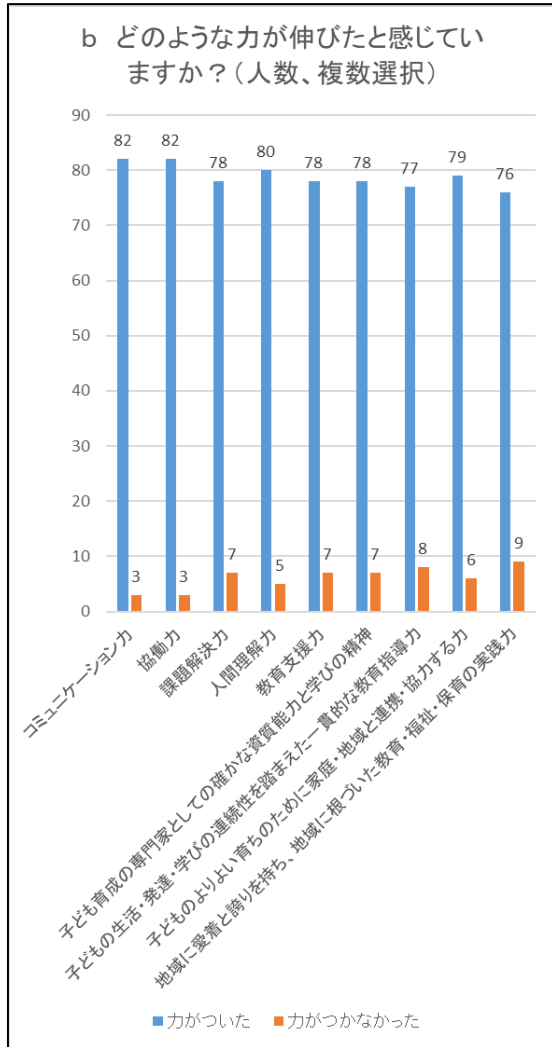
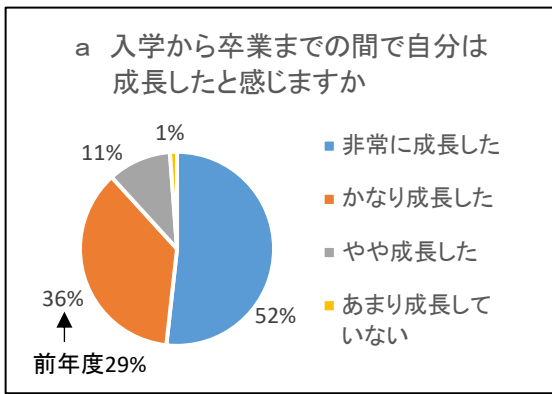
・教養科目の難易度については、「平易」が前年度の9%から18%に増加した。教養科目に対する満足度については、「満足」が前年度の36%から66%に大幅に増加している。専門科目・卒業論文指導に対する満足度についても、「満足」がそれぞれ53%から73%、59%から78%に大幅に増加した。授業科目全般に満足度が上がった理由として、記述から、「丁寧な説明」「実際の現場を想定した指導の練習」「楽しく自分の力になる授業」等が推察される。

## 2. 学習環境・就職支援について



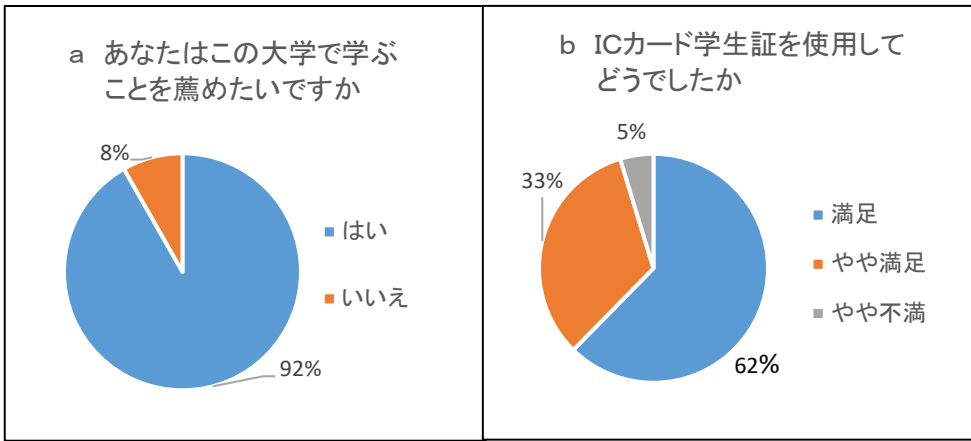
・「a 教室などの学習環境の満足度」「b PC・ネットワーク環境の満足度」「c 資格取得に対する満足度」について、「満足」の回答は、それぞれ、前年度37%から66%、21%から40%、56%から76%と、大幅に伸びている。ネットワーク環境の「不満」は18%から2%と減少したものの、「ネット環境がだんだん良くなったが、もう少しパソコンがスムーズに繋がればよいと思う」等の記述にあるように、Wi-Fi環境の不断の整備が必要である。

### 3. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って



・「a 入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか」について、「非常に成長した」は前年度の48%とほぼ変わらず横ばいであったが、「かなり成長した」は29%から36%に増加した。「d 教員との関わりに対する満足度」については「満足」が前年度から1.5倍と大きく伸びた。a、c、d、e、f、g、いずれも「満足」が増加した。サークル活動に対する「不満」は7%から2%に減ったものの、不満の原因を丁寧に捉え、改善していく必要がある。

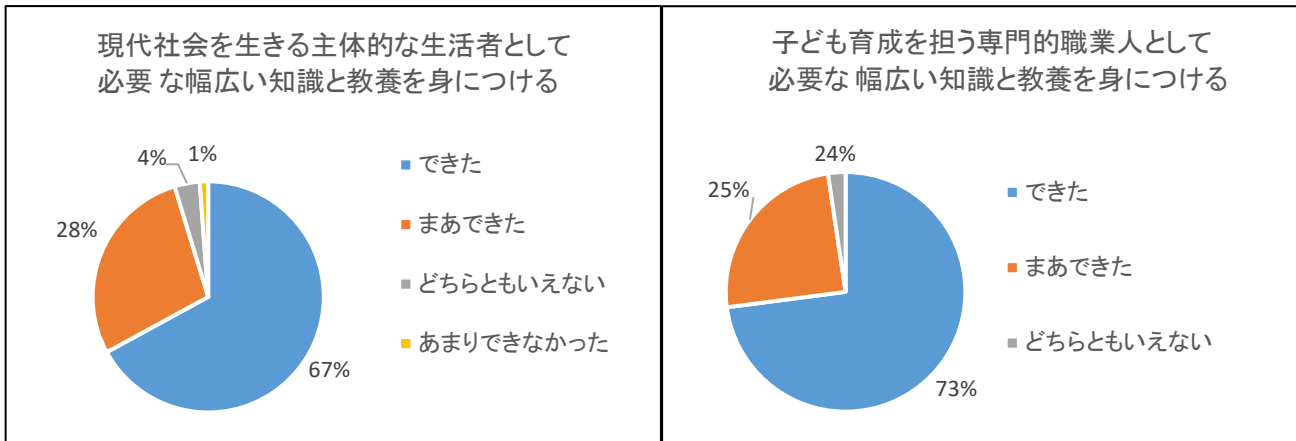
#### 4 その他



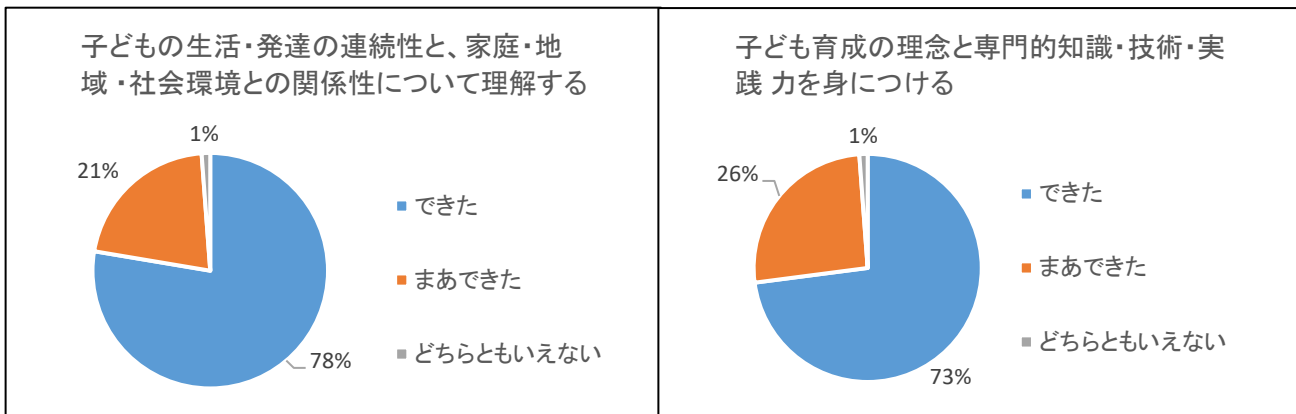
・「あなたはこの大学で学ぶことを勧めたいですか」については、前年度 91%、今年度 92%と高評価が続いた。ただ、「いいえ」が 8%いることから、原因を丁寧に捉え、改善していく必要がある。IC カード学生証の満足度については、「満足」が前年度より 1.3 倍に増加し、「不満」が 7%から 0%に減ったことから、多くの学生が利便性を実感していることがわかる。ただ、記述にあるように、コピー機との繋がりがスムーズになるよう努めると共に、ICT カード学生証の汎用性を高めていくことが望まれる。

#### 5. ディプロマポリシー達成度

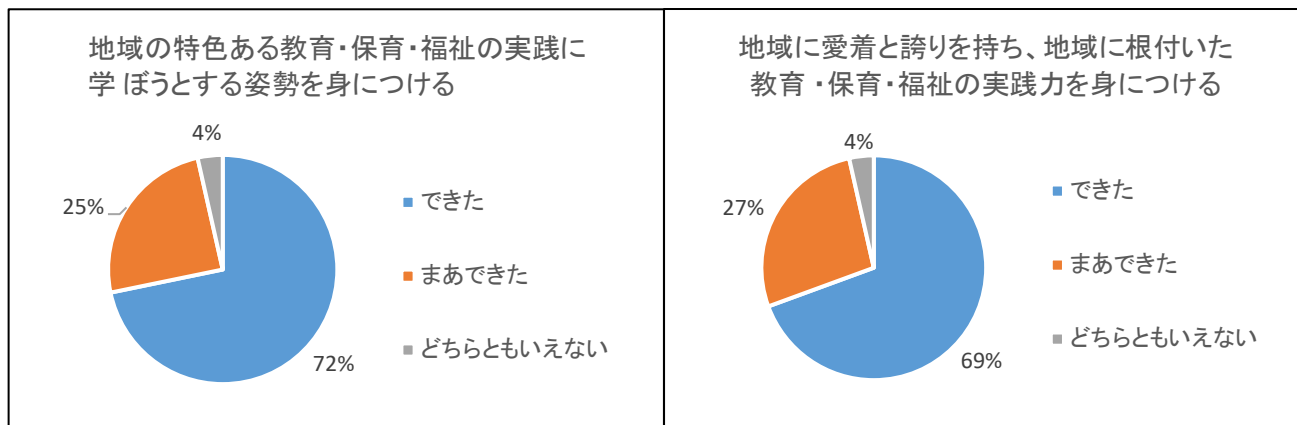
##### A 人としての資質、能力（人間性の向上）



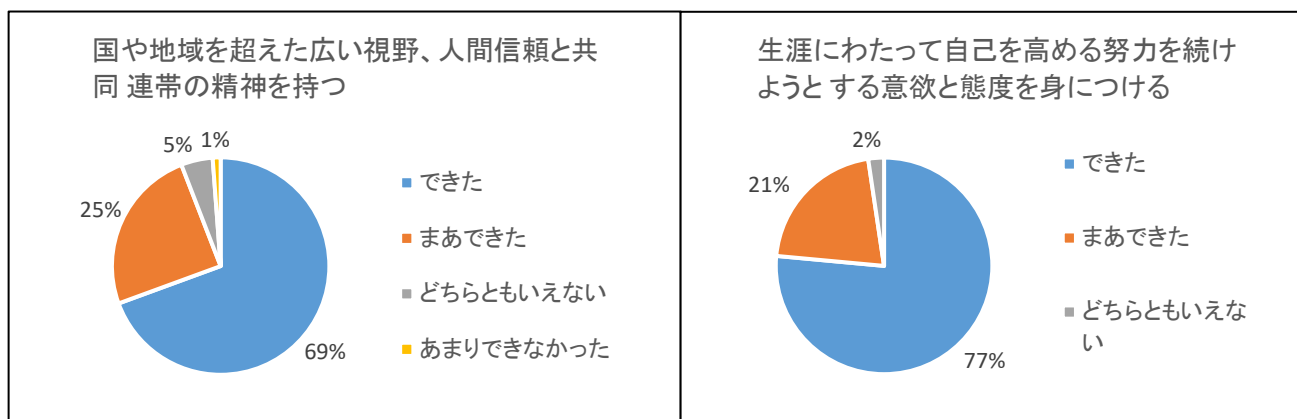
##### B 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）



C 地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）



D 21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）



・ABC いずれも「できた」と答えた学生が前年度から増加している。特に、A「子ども育成を担う専門的職業人として・・・」、B「子どもの生活・発達の連続性と・・・」、B「子ども育成の理念と専門的知識・・・」については、20%以上も伸びた。その理由として、本学部の強みである、学びを通して子どもを育成するという学生の強い思いや、分野間の学生の交流から得た学びを「育ち」として実感していることが推察できる。

# 令和5(2023)年度 卒業時アンケート(子ども育成学部) 資料

目的：卒業時に本学での学生生活を振り返ってもらい、本学の教育活動に対する満足度や在学中の学びを通じた知識・能力の修得状況、また本学に期待・要望することなど幅広い意見を徴収し、その結果を教育の改善や質向上に向けた学内での議論に活用していくための基礎資料とする。

回答方法：Microsoft にログインし、各設問に対して該当する番号を選択、記述式に関しては記入欄に回答。

実施期間：卒業生ガイダンス(3月上旬)に実施

1. 性別： 男性 女性 未回答
2. 選択した進路：保育分野 教育分野 福祉分野 一般企業 進学 その他
3. 取得した免許資格：  
幼稚園教諭免許状 小学校教諭免許状 保育士資格  
社会福祉士国家試験受験資格 スクール・ソーシャルワーク資格

## 4. 授業科目全般に関する平均的評価(1) (科目の難易度)

①教養科目の難易度	難解	やや難解	やや平易	平易
②専門科目の難易度	難解	やや難解	やや平易	平易

## 5. 授業科目全般に関する平均的評価(2) (科目に対する満足度)

①教養科目に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易
②専門科目に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易
③卒業論文指導に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易

## 6. 授業全般に関する平均的評価(記述式①)

その他、授業科目について自由に書いてください

## 7. 学習環境・就職支援について(記述式②)

①教室などの学習環境の満足	満足	やや満足	やや不満	不満
②PC・ネットワーク環境の満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
③実習指導に対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
④就職に対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満

## 8. 学習環境・就職支援について(記述式②)

環境・設備面で改善してほしいところを記入してください

## 9. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って①

入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか

非常に成長した かなり成長した やや成長した あまり成長していない

10. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って②

下記のどのような力がつきましたか。力がついたもの、力がつかなかったものにチェックしてください。

・コミュニケーション力	力がついた	力がつかなかった
・協働力	力がついた	力がつかなかった
・課題解決力	力がついた	力がつかなかった
・人間理解力	力がついた	力がつかなかった
・教育支援力	力がついた	力がつかなかった
・子ども育成の専門家としての確かな資質能力と学びの精神	力がついた	力がつかなかった
・子どもの生活・発達・学びの連続性を踏まえた一貫的な教育指導力	力がついた	力がつかなかった
・子どものより良い育ちのために家庭・地域と連携・協力する力	力がついた	力がつかなかった
・地域に愛着と誇りを持ち、地域に根付いた教育・福祉・保育の実践力	力がついた	力がつかなかった

11. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って③（学校生活の満足度）

① サークル活動に対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
② 教員とのかかわりに対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
③ 友達とのかかわりに対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満

12. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って④

大学で学んだことが社会に出て役立つと考えていますか。

非常に感じる      やや感じる      あまり感じない      全く感じない

13. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って⑤

大学での生活全体を振り返って、満足していますか      満足      やや満足      やや不満      不満

14. その他①

あなたはこの大学で学ぶことを薦めたいですか      はい      いいえ

15. その他②

I Cカード学生証を使用してどうでしたか      満足      やや満足      やや不満      不満

16. その他③

この大学に今後期待すること

17. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします①

A 「人」としての資質、能力（人間性の向上）

(回答の選択：できた、まあできた、あまりできなかった、できなかった)

- ・現代社会を生きる主体的な生活者として必要な幅広い知識と教養を身につける
- ・子ども育成を担う専門的職業人として必要な幅広い知識と教養を身につける

18. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします②

B 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）

(回答の選択：できた、まあできた、あまりできなかった、できなかった)

- ・子どもの生活・発達の連続性と、家庭・地域・社会環境との関係性について理解する
- ・子ども育成の理念と専門的知識・技術・実践力を身につける

19. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします③

C 地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）

(回答の選択：できた、まあできた、あまりできなかった、できなかった)

- ・地域の特色ある教育・保育・福祉の実践に学ぼうとする姿勢を身につける
- ・地域に愛着と誇りを持ち、地域に根付いた教育・保育・福祉の実践力を身につける

20. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします④

D 21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）

(回答の選択：できた、まあできた、あまりできなかった、できなかった)

- ・国や地域を超えた広い視野、人間信頼と共同連帯の精神を持つ
- ・生涯にわたって自己を高める努力を続けようとする意欲と態度を身につける

ご協力ありがとうございました。